

Okahata

NEWS LETTER

vol.33

2023

09

夏、自由研究！

@京丹後

社長から1:夏の自由研究:

僕たちは皆さまの 出島組織になれるのか

最近のくつナビと、化学品ブログ(興産ブログ)

- 靴の素材大集合 ナイキに靴素材を売りたい人集まれ
- 今月のくつナビ

謎の告知:シン・東京支店はサグラダファミリア。
オフィスの音について。


社長から2:スカンクワークス的とは。

“学んだことを実践投入せよ/血肉化のすすめ”



夏の自由研究、 僕らは皆さまの出島組織に なれるのか

岡畑典裕

夏といえば、自由研究。うちの10歳達は、電車  好き =
いわゆる子鉄なので、研究対象はそれぞれ、国鉄王国岡山と地
方鉄道(ニッチ過ぎる笑)。好きなことに一生懸命な子供たちは
カワイイものです(親バカ48歳)。

48歳の自由研究といえば、ONL!ONL32はレア文献を漁ったり、
ステルス現物をオハイオに観に行ったり、無我夢中で作った、
まさにTHE大人の自由研究(オハイオの皆さん、有難うございました)。

ONL32:出島組織とスカンクワークスの14Rules

:ただ飛びつくな/なんでも丁寧は間違い/学び続ければ、今まで見え
なかったものが見えてくる。

川崎汽船+商船三井+日本郵船

その続きを少し:THE出島組織、日の丸コンテナONEの勝因は

シンガポール

A 港湾情報・人財生態系(エコシステム)のど真ん中、に腰を据えて

B 出る杭系リーダーに任せたこと

岡畑興産が、メーカーさまの出島組織になるためには

A お客さま生態系のど真ん中に陣取って、

B スカンクワークス的チームを置いているか。。。

A は出来ている。 **B** 夏休み明けの大きな大きな宿題です。

そんなことを悩みつつ、化学品と、フットウェアから、自由研究
(最近のくつナビ&興産ブログ)の発表です。

靴の素材 大集合



ナイキに
素材を売りたい人
集まれ



米本が叫ぶ前に叫びます、機能化学品事業部の萩田です。化学品の営業を長らくしてきましたが、いつもうらやましいな~と思うのが当社のフットウエア部隊。

我々化学品部隊は**白い粉、クサイ液体**を取り扱っており、お届けした化学品はその後化けに化け、最終なんになっているの??よく調べると、テスラのバッテリーに採用されていたり、最新型のiPhoneの液晶に化けていたりするのですが、取り扱い原料は原形を留めていることはほとんど無く、最終用途がよく分からない事もしばしば。

一方弊社フットウエア部隊からは、提案した素材がナイキの靴製品に採用されたよ!って声。そして、その靴は店頭で手に取ることも出来れば、世界の名だたる一流プロアスリートが履いてくれているって事も!弊社営業が携わった素材が、そのまま靴になっているのを見ると、わかりやすく良いな~と思うのと、これうちが供給している素材やで、と自慢したくなるものです。

弊社が主に取り扱っているのは、スポーツシューズのアップパーに使用される人工皮革、ニット素材、またミッドソールに使用されるEVA、ソールに使用されるナイロンやTPU、特殊なゴムなど。最近では、**KaRVO**  や **R-COMPO**などの複合素材も開発しており、それをカタチ(靴)にするとこんな感じ。 **The OKAHATA Shoes**  で。



化学の力で、
スポーツシューズの進化を
もっともっともっ
加速させたい!

素材メーカーの皆さまへのお願い。
次世代のThe OKAHATA Shoes に搭載すべき素材
の紹介をお待ちしております!

最後に、本業の宣伝も少し

最近の **岡畑興産ブログ**

粉: レンズ用樹脂とは? [Click](#)

当社扱いのモノマーは粉です!



液: グリセリンとは? [Click](#)

ご安心ください!
当社のグリセリンは無臭です&
祝在庫販売開始 🎉



香料: IFRA(国際化粧品香料協会)とは? [Click](#)

安全性の高い香料を提供するための
基準も確認



ええ香り情報も扱ってますよ。




萩田からは以上です。



最近のくつナビ

一か月に渡る**台湾**  **アメリカ**  ツアーから戻りました。米本です。萩田の叫びが長いので(笑)、短めに。機能満載のスポーツシューズは“ケミカル”だらけ=できる**ことは無限大。化学品素材は、マジシャンが飛ばす鳩!**と大見得切れるのも、お取引先さまのご協力あつてのこと。皆さまからの靴材料関連の、自由なアイデアとご意見、お待ちしております!

くつナビからオススメ記事は

-  **■ ヴィーガンレザーはマジシャンが飛ばす鳩。▶LINK**
Engineered Leather で出来る事。
- ヒコみづの×岡畑興産(くつナビ) ▶LINK**
材料紹介
- 「超臨界発泡」とはどんな技術? ▶LINK**
この方法を用いるメリットは?
- アップルレザーとは? ▶LINK**
製造工程・特徴・魅力をご紹介します!
- 季節ネタ: 浴衣に合う靴は? ▶LINK**
下駄以外のおすすめの履物をご紹介します

■の告知:

シン・東京支店は サグラダファミリアか、

“終わらない、ループしない音楽。
AISO“の話



夏にやられて、訳の分からんこと言います。

シン・東京支店とかけて、サグラダファミリアととく。その心は、まだ完成しておりません。(???)

1. 東京支店完成に向けた、 最後のミッシング・ピースは、音。

引越して一番驚いたのは、東京の一等地／八重洲のオフィスは防音効果なのか環境なのか、とても静かなので声がデカイ営業がない(失礼)と思わず小声になっちゃう位、静か。わざわざ声出しに来てるのに、声が出せないって。。。でも、プレイリストを流すのは違和感があって。

2. “終わらない、ループしない音楽。”のAISO チームに依頼して、シン・東京支店に 相応しい“オフィスの音”を製作しております。

AISOとは: [Click](#)

このシステムを知ったのは、弊社取引先でもある住友化学さまの共創ラウンジ [Synergyca](#) [Click](#) を通じて。SynergycaのBGMはAISOで作っていて、その音作り

に関わっていたのが2000年前後のオルタナ・ロックバ

[Click](#) ▶▶ [続きはブログで](#)




スカンクワークス的とは。

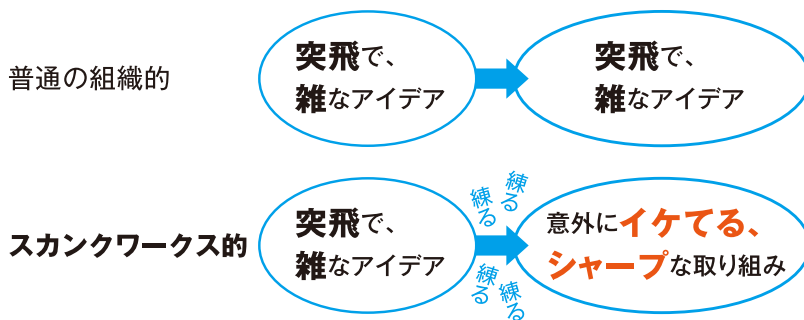
学んだことを 実戦投入せよ / 血肉化のすすめ


入社以来、僕が人より長続きしてること(つまり、得意なこと)は、本を読むこと位しかないのですが、**継続(と複利: Compounding)は力なり**。ラッキーだったのは、**学びを実戦投入し続けられる環境があったこと**。


学びは、実戦投入して初めて、血となり肉となります。

「わかってやる⇔やってわかる」という話: にも繋がりますが、弊社経営チームでの実感は、とにかく**「わかって」**までが大変。

学びという名を借りた**(突飛で、雑な)**アイデアは、うまくやり過ぎそうとされる(笑)のですが、あの手この手、週報/slack/会って話して、粘りつつ、時に数ヶ月かけて、いつの間にかみんなが意見を出し合って、**(意外にイケてる、シャープな)**取り組みに練り上がっていくのです。

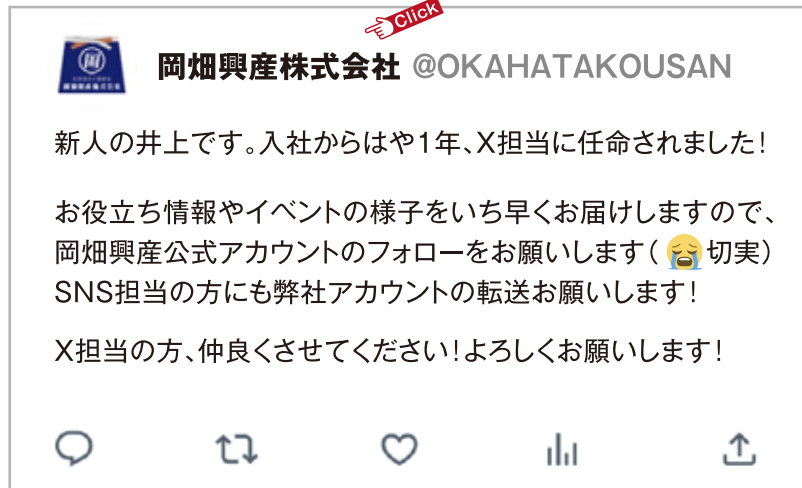


正直めっちゃパワーがかかるのですが、ここまでやるのは「わかって」まで行けば、やればやるほど、結果がでることを知っているから。優雅に泳ぐ白鳥が如く、**水面下では必死に水かき**(=無数のズレ補正とプチ反省会)、スカンクワークスとはそういうもんですよね、ケリー・ジョンソンさん。

時に、水面上にも水しぶきを飛ばしながら(泣)、学びを血肉化できることが、シン・岡畑興産の、スカンクワークス的強さ。今、出来ていないことも、出来るようになる力。

最近の実戦投入例:新しい取り組み

① X(旧Twitter)、新人X担当に再本格始動の再検討を指示(笑)



② 採用お知らせ2023

やりたいこと、めっちゃあります。ここにはないポジションも即戦力、常時募集中!

③ アップサイド>ダウンサイドな評価制度

[6段階評価で3が真ん中:1、2、3、4、5、6]で平均4以上な、アップサイドのデカイ会社を目指します。

④ インバスケッ研修

萩田が持ち込んだ、謎の研修プログラム。次号でご説明(予定)。

⑤ 合宿形式のオフサイト会議

カッコ良く言えば、TeamBuilding。昭和っぽく言えば、相部屋合宿。。

なんか、面白そうでしょ。キツイ血肉化プロセスを経た取組みたち。機会あれば、ご紹介します。

以上、夏の、自由研究発表会を終わります。最後まで読んでいただき、ありがとうございました!

■ 編集後記

読書バリアフリー

(社内報Gazette2023年8月号より転載)

第169回芥川賞は市川沙央さんの『ハンチバック』が受賞しました。元来、芥川賞とか直木賞とかいうものは出版社の営業行為の一環だと思っているので、今まで賞のついた作品を読むことを意識的に避けていました。今回敢えて彼女の作品を手にとったのは、受賞スピーチで「読書バリアフリーが進んでいくことを訴えたくて去年の夏、初めて純文学を書きました。誰もが自由に読みたい本を読める環境の整備を強く望みます」と話されていたからです。

本書は先天性ミオパチーを患い、背骨がS字に曲がり、人工呼吸器と電動車いすを利用する重度障害の主人公井沢積華を通して「障害者」と「健常者」の間にあるさまざまな問題が提起されています。さぞかし重苦しい作品なのではと思っていましたが、その文章は軽妙で洒脱(おまけに短い)。以前「セッションズ」という障害者の性をテーマにした映画を観た時の「気張らずに障害を考える」感覚を思い出しました。

「私は紙の本を憎んでいた。目が見えること、本が持てること、ページがめくれること、読書姿勢が保てること、書店へ自由に買いに行けること、——5つの条件を満たすことを要求する読書文化のマチズモを憎んでいた。その特権性に気づかない「本好き」たちの無知な傲慢さを憎んでいた」「紙の匂いが好き、とかページをめくる感触が好き、などと言い電子書籍を貶める健常者は呑気でいい」という健常読書人への痛烈な言葉、「アメリカの大学ではADAに基づき、電子教科書が普及済みどころか、箱から出して視覚障害者がすぐ使える仕様のリーダーでなければ配布物として採用されない。日本では社会に障害者はいないことになっているのでそんなアグレッシブな配慮はない。本に苦しむせむし(ハンチバック)の怪物の姿など日本の健常者は想像もしたことがないのだろう」という社会への批判には二の句が継げませんでした。実際私も何度も「本好き」と称してそのようなことを書いてきました。確かに健常者の本好きたちの無知な傲慢さと言われても返す言葉もありませんが、やはり「紙の本が好き、匂いも好き、書店でさまざまな本を取って眺めるのが好き」(私は電子書籍大賛成派ですが)という気持ちは、多少の後ろめたさは加わったものの変わることはありません。

2019年に成立した「読書バリアフリー法」は視覚障害者だけでなく寝たきりや障害のために本が読みづらい人々の読書環境を改善、整備し、誰もが自由に本を読む権利を享受するための法律です。古くからある点字本や拡大図書、録音図書、最近では電子書籍、Audibleなどが整備され始めていますが、それでも世界盲人連合(WBU)によると、世界中で毎年出版される書籍のうち、視覚障害者が利用しやすい様式の書籍が占める割合は、先進的に取り組む国で7%、発展途上国に至っては1%にしか過ぎないとのこと。この地球が減びてもなお読書バリアフリーなんて無理と思うほど絶望的な数字ではありますが、多くの人が少しでも市川さんを含め障害のある方の現状を知り、その思いを共有し読書バリアフリーを実現する第一歩として、『ハンチバック』(電子書籍あります。Audible版ありません)を手にとってみて下さい。(kiki)

ニュースレター **バックナンバー**はこちら



岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2023年9月8日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2023.9.8 / Issue 033

© 2023 オカハタとアイデアと